



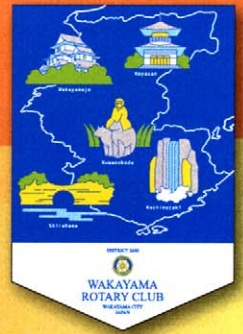
DISTRICT 2640

2004~2005 Weekly Bulletin

# WAKAYAMA ROTARY CLUB

## 和歌山ロータリークラブ

事務所：〒640-8231和歌山市北汀丁7 三井生命ビル5階 電話073-432-1681 FAX 073-428-1666  
例会場：和歌山市北汀丁7 三井生命ビル3階 例会日：毎週火曜日12：30-13：30  
会長：井手幸男 幹事：和中美喜夫 e-mail：wrc@dream.ocn.ne.jp



クラブテーマ  
ロータリーの魅力を知って、  
ロータリーを楽しみ、  
そして共に汗を流す奉仕に参加しよう。

No.2656  
10月5日(火)

### Today's Meeting

○「和歌山を歩いて」

わかやま・絵本の会

松下千恵さん

### Next Week's Meeting

○第2回2分間リレートーク  
「喜怒哀楽こもこも！」

各テーブル1名、計7~8名トーク

### 先週の例会記録

☎ロータリーソング

四つのテスト

☎ビジター紹介

台湾板橋から張錦燦さんご夫妻、岸和田北から藤静夫さん、泉大津から中島治一郎ガバナー、和アゼリアから加納達之ガバナー補佐、東から2名、南から1名、東南から1名

☎出席報告

(会員数74名、免除会員15名)

本日出席 (9/28) 56名 75.68% 先々週出席 (9/14) 55名 93.22%

☎メイキャップ

和東へ2名、南へ1名、西へ2名、北へ3名、RACへ2名、地区へ5名

☎S. A. A.

(ニコニコ箱)

湯川 進さん、東本暁美さん、堤 啓治さん(お誕生祝) 堤 啓治さん(奥様お誕生祝) 台湾板橋 R.C.張錦燦さん(和歌山R.C.を訪問させて頂き) 坂本順一さん(中島ガバナーをお迎えして) 垂井 一さん(中島ガバナーをお迎えして、しんどうガバナー職を2度もお引き受け頂き) 知念章雄さん、野志幸生さん、檜畑直尚さん(板橋R.C.張さんをお迎えして) 和中美喜夫さん(中島ガバナー・張さんご夫妻をお迎えして) 上野育人さん(ゴルフ会皆様のご配慮で優勝させて頂きありがとうございます) 井手幸男さん、西本 洋さん(社会奉仕3委員会『野外活動』大変お世話になりました。感謝!) 宮井俊明さん(先日の社会奉仕3委員会『野外活動』たくさんの参加・協力ありがとうございます。本年度のクラブテーマ《ロータリーの魅力を知って ロータリーを楽しみ そして共に汗を流す奉仕に参加しよう》そのものの実りある2日間でした) 村垣昌美さん、木綿紀文さん、兼田 守さん(先日バーベキューキャンプたくさんの参加ありがとうございます。又西本さん写真ありがとうございます) 宮武 啓さん、若林朋広さん(深山キャンプ家族全員楽しかったです) 梶本隆治さん(楽しいキャンプでした。お世話頂いた皆様ありがとうございます) 上野精計さん(バーベキューの写真ありがとうございます) 倉橋 祐さん(加太キャンプ真夜中のハプニング《むかでが没》本多さん、宮井さん看護ありがとうございます) 鳥村安昭さん(高校時代のクラスメイト竹中平蔵君が第2次小泉内閣で経済財政政策担当大臣に就任を祝して) 樋田 毅さん(私の母校愛知県立旭丘高校のボート部が今夏インターハイの舵付4人漕ぎスカルの部で優勝。ボート部OBとして、26日名古屋で優勝祝賀会に出席しました) 植木 彰さん(10/10にBSで『お〜いニッポン私の好きな和歌山県』を全国放送します。本日お許しを得て番組情報誌ステラを配布させて頂きました。是非番組をご覧下さい) 笹本昌克さん(先日のキャンプ楽しかったです。ありがとうございます。本日お月見、兼田さんのご協力頂いて“月見だんご”用意させて頂きました)

本日合計 ¥98,000 今年度累計額 ¥728,505

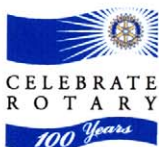
👉👉👉Jr 本日合計 ¥3,971 👉👉👉Jr 今年度累計額 ¥42,334

(財団寄附献金箱)

垂井 一さん(キャンプではごちそうになり、又西本さん写真ありがとうございます) 井手幸男さん(中島ガバナーをお迎えして) 檜畑直尚さん(倉橋さん写真ありがとうございます) 笹本昌克さん(西本さん写真ありがとうございます)

(米山奨学寄附献金箱)

垂井 一さん(会場に子供達の絵を展示下さり、準備の方々ありがとうございます) 井手幸男さん(先日竹中会員、堤会員より有意義な卓話をありがとうございます)



2004-2005年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを祝おう」  
CELEBRATE ROTARY  
100Year's

グレン E. エストニア  
2004-05年度 国際ロータリー会長

RC名	和歌山北	和歌山アゼリア	和歌山西	和歌山東南	和歌山東	和歌山城南	和歌山南	和歌山中
TEL	432-5260	435-3470	432-1654	423-3666	432-4343	432-1615	423-9031	423-3555
例会場	ルミエールホール	県文・フロリア	和歌山商工会議所	ルミエールホール	ルミエールホール	アパローム館の国	サンピア和歌山	県文・フロリア
曜日	月	月	水	水	木	木	金	金
時間	12:30	12:30	12:30	12:30*	12:30	18:30	12:30	18:30

\*第1-2(水)は18:30~19:30 第3-4-5(水)は12:30~13:30

# 中島ガバナー 公式訪問例会



加納 達之  
加納ガバナー補佐

中島 治一郎  
中島ガバナー

## 会 長 挨 拶

本日は2640地区中島ガバナーの公式訪問例会です。  
午前11:00よりガバナーと会長・幹事の懇談会を行いました。

中島ガバナーにはご多忙の中、当クラブを訪問いただき改めて御礼申し上げますと共にご教示ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

ガバナーは「クラブの活性化と地域社会の活性化」のためにクラブの相談役、アドバイザーとして精力的に各クラブを連日訪問されておられます。

これからのロータリー活動としてロータリー100周年事業での取り組みについてガバナーより卓話を頂きます。ガバナーのロータリーに対する思い、信念を聞かせていただきます。

## 会 長 報 告

9月25日(土)・26日(日)2日間、社会奉仕3委員会共同事業「野外活動」を実施いたしました。会員・ご家族・ローターアクトを含め58名の参加を頂き、楽しい2日間のキャンプを無事終了いたしました。改めて宮井社会奉仕担当理事、新世代、ローターアクト、環境保全の3委員会の方々は大変お世話になりました。感謝申し上げます。

## 卓 話

### 「ガバナー卓話」



第2640地区 中島 治一郎 ガバナー

地区ガバナーは2回目ですが、前回ガバナーになった時は「ジャパン・アズ・No.1」と日本がもてはやされた時代で、R.C.運動も当時とは大きく変わっています。あまり良い方向ではありません。R.C.とは何かと人に尋ねますと、「奉仕団体」あるいは「ライオンズクラブと同じ」との答えがかえってきます。R.C.は、人づくりが大切です。人づくりに力を入れなくなるとはR.C.ではなくなってしまう。ところが、残念ながら本家の米国でのR.C.は小粒になっています。歴史の古いR.C.でも、街の名士が入っていない状態で、大阪市と友好都市関係にあるボストンのR.C.にも名士とされる人はあまりいません。R.C.の綱領には職業奉仕が明記されていますが、実際にはそうした意識が薄くなっており、入会時の審査も緩くなっています。

6月にシカゴで綱領を巡る委員会がありましたが、論議のレベルは高いものとは言えませんでした。奉仕の精神について、「I SERAVE」と「WE SERVE」の違いからライオンズクラブが分かれた経緯などは顧みられず、女性会員からの抗議を受けて「HE PROFIT」を「THEY PROFIT」と書き換える案が認められてしまいました。インターネットへのアクセスで例会への出席とみならず、というところでもない案も認められる方向です。米国のR.C.運動は間違った方向に進んでいると私は思います。ここで米国でR.C.運動が始まった原点をみると、1905年に誕生した後、1920年代に奉仕の概念を導入し、人づくりに力を入れました。20年代終わりに「四つのテスト」を決め、30年代には世界不況からの脱出に貢献、商工会議所の発展にも寄与しています。

私は、1937年に誕生した和歌山R.C.の先輩の皆さんに心から敬意を払いたいです。太平洋戦争の勃発で、和歌山R.C.は解散を余儀なくされましたが、その後も、火曜会の名前で活動を続け、官憲が目を見らる中で毎週の例会を続けられていました(中島ガバナーからの質問に、島村安彦会員から「R.C.精神を失わないように活動を続けたのです」との説明あり)。戦後に再出発した際の和歌山R.C.は錚々たる顔ぶれがそろい、市民の尊敬を集めていたと聞きます。R.C.運動が始まって100年。この大事な節目に和歌山R.C.はもう一度真剣に過去を振り返り、新たな道に踏み出してほしい。2640地区には大阪と和歌山に計76のクラブがありますが、最も歴史のある和歌山R.C.の動向を各クラブが注視しています。地区のフラッグシップ(旗艦)としての役割を期待しています。

ドイツのR.C.運動は今、一番元気です。クラブの数も増えているし、加入を希望して待っている人たちもたくさんいます。ドイツと日本は似ているところもありますが、R.C.運動に関しては正反対です。ドイツのR.C.は、各業

種の代表をメンバーに選ぶ基準、メーキャップの条件など自らを厳しく律しようとしています。そうした努力で人々の尊敬を集め、誇りを高めています。ところが日本では、理事会もこうしたルールを緩める方向にあり、ルールを緩めるのは楽ですが、厳しさを取り戻すことは至難です。新世紀を迎える中で、和歌山 R.C. は他のクラブの模範になっ

ていただきたい。ロータリーの新たな世紀の担い手として、地域社会の活性化に役立ち、ロータリーのあるべき姿を取り戻してほしいのです。ご静聴、感謝します。

和歌山ロータリークラブが1937年に誕生してから、1940年9月に戦争のため国際ロータリーを脱退し、『火曜会』と名称を変えクラブを継続された、その原動力について島村会員と竹中会員に意見を求められる。



姉妹クラブ 台湾板橋 R.C.

**張さん 来和される!!**

台湾板橋ロータリークラブより張錦燦さんご夫妻が来られ、ご挨拶を頂きました。浜病院の濱 正純さんのお見舞いのために当クラブをご訪問されました。



## クラブ協議会

クラブ協議会の趣旨説明と  
討論の進行役の  
根来クラブ奉仕担当理事



【クラブ協議会・Aテーブル】

**テーマ：クラブの活性化について**

進行役 寺下クラブ奉仕担当理事



R.C. を活性化させるポイントは、地域と共に活動できるかどうか、ではないのか。和歌山 R.C. の活動は、地域の中で形として見えていないと思う。その点で、海南 R.C. が地域の小学校を対象に取り組んだ活動は参考になる。活性化のため R.C. の会員増を、上部団体などから強く要請されているが、量より質ではないのか。クラブの数も会員数も実は増やしすぎではないのか。会員の選考も厳しくし、マン・ツー・マンで R.C. 精神をしっかりと教えることが必要だ。（この意見に対し）組織としては会員を増やすのは当然の仕組みだが、R.C. が何のために存在するのかをよくわきまえたい。我々の崇高で地道な活動によって、会員の質は必然的によくなる。過去を考えても、会員の数が多かった時は活動も活発で、量には質を伴う側面がある。個人で考えても、まず例会に出席することから始め、次第に意識が深まる。そう言って、自分自身に甘えてしまう反省点もあるが。地域社会への貢献では、特に若い人たち、子供たちを対象にして将来に期待をかけた。報道機関が取り上げるような、外の目から見ても意味のある奉仕活動に取り組むことも必要だ。我々は、自分の仕事を一生懸命にする。それは、とりもなおさず仕事を通して地域に貢献することになる。同じように、R.C. 活動の活性化が、ひいては地域の活性化につながっている。

## 【クラブ協議会・Bテーブル】

## テーマ：地域社会への貢献活動について

進行役 宮井社会奉仕担当理事



社会奉仕の立場からの提案として、地域社会への貢献活動を考えたい。たとえばローターアクトにしても、青少年活動、教育、コミュニケーションを充実させるには1年間では難しく、最低でも2～3年かかる。委員長、副委員長も2～3年の任期で彼らに接して真剣に、かつ行動も共にしなければダメだと思う、という意見が多かったように思う。そして、なぜローターアクトをバックアップしているのかについても、検討しなくてはならないと思う、という意見も出た。ひまわりの種を植え続け、水をやり、肥料をやり、雑草を取り除いているのも、事業の継続という意味では同じで、やはり1年ではダメだ。やっと子供たちとも交流を深めて『喜び』『夢』を一つにして、立派な花を咲かせたのはものすごく意義があると思う。中島ガバナーからは、以前は単年度の取り組みをするR.C.が多かったが、最近は継続の事業が増えているとし、感動のプロジェクトを実現するには、結果として連続性が大事で、2～3年の事業に各委員会でじっくり取り組むことが大事だとの指摘があった。

## 【クラブ協議会・Cテーブル】

## テーマ：国際貢献活動について

進行役 上野国際奉仕担当理事



スリランカの小学生を日本に招待（4月）する国際奉仕のプロジェクトに対しての注意点

1. 個人的には困難であるがスリランカへ実情視察を行い、テレホンカードによる基金づくりにより小学校を建設。教育環境が整っているが、その後の支援と交流が必要である。
2. 招待する対象は低学年、期間は1週間予定、同年代の子どもたちの親の理解と協力が必要。教育は継続すべきである。ブラジルでは2/3の生徒は独力で勉学している。外国の生徒の姿勢を学ぶ時機に来ており、それが国際交流であり国際貢献活動である。

## ロータリークラブとは（ガバナー意見）

ロータリークラブは人づくりと奉仕、業界の代表の集まりであり、職業への有用性と品位を高め、その使命を果たさなければならない。

1920年の後半に「四つのテスト」が採用され、その理念でロータリークラブは発展。本年国際ロータリーは100周年を迎え、和歌山R.C.は創立70周年を数年後迎える。ドイツのロータリークラブは人々の尊敬を集め、自分たちのクラブに誇りを持っている。和歌山R.C.の皆様も他クラブの模範となる活動を行って頂きたい。

## 米山・財団について（ガバナーの意見）

米山奨学金を有効に使用して頂きたい。真の貧困の国の学生を招へいすべきである。

ロータリー財団は後進国から30%の現状であるが、本来は貧しい国からの学生を70%にすべきである。現地で留学生を捜す時機に来ている。



中島ガバナーにも各テーブルに加わって頂きご意見ご指導頂きました。



坂本副会長から公式訪問への御礼の挨拶が述べられる